

7/20 福井

政治と宗教 民進と自民の対立

安倍晋三元首相の銃撃事件に関して、政界と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関わりについて調査の必要性を訴える声が19日、野党から相次いだ。日本維新の会副代表の吉村洋文・大阪府知事は「政治の力が働いてもがめられてこののならただすべきだ。しっかりと調べる必要がある」と府庁で記者団に語った。

吉村氏は、旧統一教会の関連イベントに出席したり、一部メディアも示した。

安倍晋三元首相の銃撃事件について、政界と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関わりについて調査の必要性を訴える声が19日、野党から相次いだ。日本維新の会副代表の吉村洋文・大阪府知事は「政治の力が働いてもがめられてこののならただすべきだ。しっかりと調べる必要がある」と府庁で記者団に語った。

吉村氏は、旧統一教会の関連イベ

から指摘された維新所属の議員もいるとして、「（議員自ら）経緯をきちんと説明した方がいい」と述べた。

共産党の小池晃書記局長は記者会見で「自民党などの多くの議員が関連団体に参加したり、メッセージを送ったりしておいた」とが明らかになつていて。癡情、政界工作の全容解明が必要だ」と述べた。関係者らの国会招致を求める考え方を示した。

野党から訴え相次ぐ

国民民主党の玉木雄一郎代表は会見で「しっかり説明し、問題があれば取り締まる」とが必要だと指摘。一方で、緊急運営と関係が深いされる世界日報の元社長から2016年に3万円の寄付を受けていることを明らかにした。「法令に基づいて処理されていい。何うやましい」とはなく、今のところ返還は考えていない」と説明した。

社民党の福島瑞穂党首は集会で「自民と旧統一教会の関係はしっかり究明されなければならない。政治がま」並びにがめられてきたのか。徹底的な検証が必要だ」と強調した。